



いきいき Scenic Women

～ルートで活躍する女性たち～ Vol.005

弟子屈町 長谷製菓(株)

平野 江利子 さん

卯「大鵬せんべい」、丹頂鶴の商品、長らく愛されている自社の商品

「次はミルクまんじゅうを出す予定です」商品の企画と品質管理を担当する平野さんは、入社13年目の貫禄を見せた。代々続く長谷製菓の娘、小さい頃からお菓子は身近なものであり、今も最高の好物だ。東京で2年、営業職をしてきた経験が企画や製造現場の声を活かせる力となった。

道の駅・摩周温泉すぐそばの国道243号線沿いにある店の中は、まるでおとぎの国のメルヘンだ。隣接する工場からは、菓子が香ばしく焼ける甘い匂いが、のどかな陽射しの下に漂う。

自然の中でいつまでも
愛されるお菓子
『可愛く、
美味しく、
新しく』



弟弟子屈は摩周湖があつて、自然に満ちていて、空気がおいしい。旅行客にそう喜んでもらえるのが嬉しい。そんな地元で根付く、息の長い商品を作りたい思いは強い。

ラインナップに平野さんが花を添えた。苦勞を重ね、半年の試行錯誤の上で完成した「Hokkaidoマトリョーシカ」。箱を開けると中から可愛らしいキャラクターが顔をのぞかせる。やわらかでユニークなデザイン、チーズ風味にハスカップの酸味を合わせた、女性ならではの感性が、道東の土産菓子の新しい定番となった。北海道の自然を幻想的に描いた斬新なパッケージの「アリスのラングドシャ」も平野さん自慢の一品。

(文：高橋 由衣 / 写真：酒田 浩之)



▲平野さんが開発した「Hokkaidoマトリョーシカ」と「アリスのラングドシャ」。どちらもお土産に大人気。



スイーツプラザ摩周二丁目(長谷製菓直営店)

Open 10:00~17:00

川上郡弟子屈町摩周二丁目(国道243号線沿い)

015-482-5566

462 880 423*82

長谷製菓の商品が全て揃うほか、菓子工場で出た規格外の商品が並ぶ。いつも地元の常連客で賑わい、大鵬せんべいの「ワレモン」は予約待ちになるほど。



摩周湖は世界2位の透明度を誇る湖ですが、春と秋の年に2回だけ湖水が濁ることがあるそうです。水温が4℃になると湖面と湖底の水が入り替わり、湖底の泥がかき上げられるため。